

シルバーだより

いきがい

発行

公益社団法人

佐用町シルバー人材センター

広報編集委員会

〒679-5301 兵庫県佐用郡佐用町佐用 1035-14

TEL (0790) 82-3630 FAX (0790) 82-3034

ホームページアドレス <http://sayosilver.sakura.ne.jp>

就業中の会員紹介

(Vol.6)

これから順次
紹介していきます

門松作成作業
(上月地域)
(右から/敬称略)
寺本秀志 陸山雅仁
山本芳雄 久本和夫
原田利光



剪定作業
(佐用地域)
(右から/敬称略)
横山一郎 横山 繁
西川克則 井上恭一
坂本謙二 井上 薫
寺田泰正 山田泰蔵

主な内容

- ・理事長年頭挨拶
- ・兵庫県シルバー人材センター事業推進大会
県知事感謝(役員1名)、会長表彰(役員2名・会員6名)
- ・会員親睦旅行記・寄稿・投稿(年男、年女)
- ・事務局だより、配分金の申告について、配分金支払日のお知らせ
- ・新入会員・退会会員紹介、会員募集、原稿募集、編集後記

標語 **まず確認 作業手順と危険予知**

新年のこあいさつ

さらなる団結心をもって・・・

理事長 敏森 正勝



新年あけましておめでとう
ございます。

皆様には健やかに新春をお
迎えることとお喜び申し上げます。

皆様は、人生行路の一役の延長線上で、より強く
たくましく頑張っておられます。ことに對し、感謝
と一言一言しかありません。

ただ、基本は安全第一であり地域の貢献に努め、
安心して任せられる信用のある会員でなくてはな
りません。又、会員の皆様は業者ではなく、町民の
皆様の援助をしている。と言う気持ちで、町民に對
してどう伝わっているか。考え方、受け取り方の違
いが大きな過ちとなってしまう。

ある本の中に、武田信玄はなぜ強かったのか、そ
の秘密を解く鍵が、次の言葉の中にあります。「負
けるはずがないと思っていた戦いに負けたり、滅
びるはずがないと思っていた家が滅びたりする
と、人はみな天命(運)だと言う。だが、天命だと
は思わない。それは皆、やり方が悪かったからであ
る。やり方さえよくすれば、負けるはずがない。」

思いがけない事態が起きると「運が悪かった」と
嘆くものばかりだ。「運」「不運」で片づけてしまっ
ては、進歩がないからである。どんな結果にも必ず
原因がある。悪い結果が起きたなら、その時、その
時、きちんと反省し、改める努力をしてこそ未来が
開けて行く。これが信玄の信条である。という。私
は、この言葉のなかで思ったことは、聞くことは勿
論の事、勝手に判断しない、知恵を出し合い団結

してこそ成り立つことが多いのではと思っ
ています。

今年も心機一転、明るい日ざしの中で助け
合い、協力し合い、心からの素晴らしい一年
の始まりであるようにご祈念申し上げます。

兵シ協事業推進大会で表彰される

10月30日に神戸の松方ホールにおいて、令和
元年度兵庫県シルバー人材センター事業推進大
会が開催され、長年にわたりシルバー人材センタ
ー事業の発展に功績のあった団体や役員、会員の
表彰が行われ、佐用町では8名が受賞しました。

受賞者

(右から/敬称略)

【15年表彰】会員

久本和夫 (上月)

馬場京子 (佐用)

【役員表彰】

三宅賢三 (上月)

有本長治郎 (佐用)

【現理事長】

敏森正勝 (南光)

【15年表彰】会員

北山虎之助 (佐用)

【当日欠席の会員】

【15年表彰】

塩津 徹 (佐用)

古市 勝 (佐用)

船曳スミエ (三日月)



知事感謝及び役員表彰を受賞して

前理事長 有本長治郎

会員の皆様、地域の利用者の絶大なご理解と
ご協力により、平成23年6月より2年間副理
事長、そして平成25年より令和元年6月まで
の3期6年間理事長としてお世話になりました。

代表理事8年以上の功績により、県知事の感
謝状と県シルバー人材センター協会長の表彰
を受けました。身に余ることと感謝申し上げます。
次第です。

振り返ってみますと、平成15年の当センタ
ーの発足の年は約450万の受注事業が平成29年
度には1億円に達したこと、平成29年に実施
した記念大会に於いては一般にも呼びかけ会
員が2倍近い参集のもと各界の皆様のご協力
があり盛大に開催できたことと併せて記念誌
の発刊もでき、想い出の8年間となりました。
皆様のご協力により表彰頂いたことに對し
感謝申し上げます。シルバー人材センター事業の
益々の発展をお祈り申し上げます。

役員表彰を受賞して

監事 三宅賢三

この度は、兵シ協事業推進大会にて協会長よ
り役員(8年)表彰して頂きました。

この表彰は、私にとってこの14年を振り返
る良い機会となりました。センターに入会以來
、仕事や付き合いの場で数えきれないほど多く
の人たちと出会いました。役員諸氏や職員の皆
様、会員の皆様・就業先の方々。たくさんの方
たちから多くの事を教わり、様々な経験をさせ
て頂きました。今自分があるのはその人たちの
おかげだと思います。これからも人との絆を大
切にして、仕事に頑張ってまいります。

令和元年度 会員親睦旅行

令和元年度会員親睦旅行が11月12日開催されました。各地区から2台のバスに分乗、60名が参加しました。

当日は朝から小雨模様の天気でしたが、秋の親睦旅行(観光)は和やかなうちにスタートとなりました。

日生港よりフェリーに乗船、瀬戸内海の周りの景色を楽しみながら1時間で小豆島大部港に到着。島内のバスの旅を続け、「ベイリントホテル小豆島」に到着、楽しみにしていた昼食(1時間)に舌づつみ。会場は笑顔と、楽しい会話で一杯。

次の見学先、マルキン醤油記念館へ。百年以上の



移動はバスで



ホテル小豆島にて御馳走を頂くひと時

歴史のある醤油製造の全ての工程、製造に使われた用具等が展示されており、歴史のある城内の見学となりました。

いよいよ旅の本番、寒霞渓ロープウェイ紅雲駅へ。登り途中の周りの景色と、山頂展望台からの素晴らしい眺めに全員ため息の出るひと時でした。

一日が感銘を受けた親睦旅行となりました。

ロープウェイから見る寒霞渓紅葉には少し早かった



油学
舘見
マル
キンを
念した
記し



寄稿・投稿

年男

尾崎保夫(佐用)

今年で6回目の年男になりました。72歳です。

定年で仕事を辞めて家でゆっくりしていました。もともと庭いじりが好きで、我流で剪定をしていました。

そんな中、シルバー人材センターで「松の

年女

間嶋延子(上月)

剪定の講習会」がある事を聞き、シルバーの事務所を訪ねたのが入会のきっかけです。早いもので昨年会員10年表彰を受けました。

本当に良き先輩たちに恵まれ、仕事も毎日楽しめました。剪定について色々な事を教えて頂きました。木々一つひとつに表情、形があり、自分で剪定をし、うまく出来たと思う時、本当にうれしく何か達成感のようなものを感じます。

町内全域で庭の剪定作業に廻り、依頼先で一きれいになりました、ありがとう。」の言葉を励みに、これからも健康に気を付けながら頑張っていきたいと思えます。

私は定年退職後別の会社に就職をしたのですが、会社が2年で閉鎖になり、家にいたところ、同じ会社に勤めていた人からシルバー人材センターの事を教えてもらい入会しました。シルバーで笹ヶ丘荘を紹介され、厨房で仕事をする事になりました。

私にはその仕事が務まるかなと思いましたが、今年で8年になります。その間に退職された方、新しく入って来られた方、多くの人と出会い、色々な事を教えてもらったり、色々なことを話したり聞いたりして楽しく働いています。

これも皆様のおかげだと心より喜んでいます。

事務局だより

配分金の申告について

会員の皆様へ支払われるシルバー人材センターの配分金は、所得税法上では雑所得として取り扱われますので、所得税確定申告又は町県民税申告の必要があります。

〈申告に必要な書類〉

配分金支払証明書、年金・給与等の源泉徴収票、農業収支内訳書等の該当する書類

〈参考〉

○シルバー人材センターから配布の『会員手帳』に記載の「配分金収入等に対する所得税の取り扱いについて」を参考して下さい。

○町広報1月号に掲載されている「所得税確定申告と町県民税の申告相談」の記事と、同時に配布される「相談日程表(裏面)」を参考して下さい。

※ 税の申告で分からない場合は、役場税務課(82-0662)又は相生税務署(0791-23-0231)にご相談ください。

新入会員紹介(よろしくお願ひします)

(元年6月〜元年12月) (敬称略)

(佐用地域)

宮本朝男・山本好美・山口俊郎
横山一郎・井上信子・藤木 強

坂本清美

(上月地域)

竹内辰巳・高見寿雄・岡本節美
森口 治・木南榮英・杉本 聰

(南光地域)

加藤信八・宅美佐代子

(三日月地域)

花井義信・仲村吉計

退会会員(お世話になりました)

(元年7月〜元年12月) (敬称略)

(南光地域)

阿曾正基

シルバー人材センター会員募集!

会員の皆様より、お知り合いの方へ、シルバーへの加入のお声かけや紹介をお願いします。(佐用町在住で、健康で働く意欲のある方、60歳以上の方、シルバー人材センターの趣旨に賛同して頂ける方であれば、どなたでも会員になります。)

配分金支払日

1月分↓2月14日	2月分↓3月13日
3月分↓4月15日	4月分↓5月15日
5月分↓6月15日	6月分↓7月15日
7月分↓8月14日	

原稿募集

シルバーだより次号の原稿を次のような内容で募集しています。

☆自己体験・随筆・短歌・俳句・写真等

☆原稿締切日 2020年6月末

☆シルバー人材センター事務局まで。

編集後記

新年あけましておめでとうございませう。令和2年のスタートです。

会員の皆様にとって幸多き一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

『安心を優先、そして健康充実!!』と一日一日を大切に送っていただけの事を願っています。

編集にあたり、「いきがい」を身近な方よりと気軽に原稿等の提供をいただきますようお願い申し上げます。

広報委員一同、会員の皆様に充実した「いきがい」をお届けしたいと思ひます。

広報委員長 山田泰藏

委員 西川克則

委員 祐保俊彦

委員 白矢孔邦

委員 船曳輝之

